

テクノメタル 環境報告書2009

TECHNO - METAL
ENVIRONMENTAL REPORT
2009



目 次

- ごあいさつ
- 会社概要
- 環境方針
- 環境マネジメント
 - 環境改善活動の推進
 - 環境改善活動のPDCA
 - ISO14001への取り組み
- 環境改善活動への取り組み
 - 環境保全活動
 - 省エネルギーの推進
 - 産業廃棄物の低減・リサイクル
- 地域社会との共生・ボランティア
- 環境データ



ごあいさつ

就任早々、鳩山総理大臣は2009年9月22日ニューヨークで開かれた国連気候変動首脳会合に出席し、2020年までに温室効果ガスを1990年比で25%削減を目指すことを表明しました。日本政府の積極的で勇気ある公約が国際的な場で高く評価されました。我々産業界においては、持続的な経済成長と環境問題の両立という重要課題を抱えており、技術革新と国際競争力の強化に向けた新政権の積極的な政策展開に大いに期待するところです。また、我々企業も一体となって実現に努力する必要があります。

当社は、高村光太郎の「智恵子抄」で有名な福島県二本松市と、武蔵野の面影が残る緑豊かな埼玉県北本市に生産拠点を持つ自動車及び産業機械用の鋳造・鍛造素形材メーカーです。エネルギーや金属資源を大量に消費する当社にとって環境問題は最重要課題の1つであり、「自然環境保護、地域社会との共生」を基本方針として、今後も継続的に環境改善活動を推進してまいります。

この環境報告書は、当社における環境への取り組みについてまとめたものです。本誌を通じて、皆様が当社の環境活動状況をご理解いただくうえでお役に立てれば幸いに存じます。

2009年11月



代表取締役社長 **三浦哲夫**

会社概要

社 名 テクノメタル株式会社
所 在 地 本社・二本松工場 福島県二本松市高田100番地
北本工場 埼玉県北本市古市場1-100番地
設 立 1971年5月20日
資 本 金 19億4000万円
株 主 旭テック株式会社
従業員数 720名(2009年11月現在)
事業内容 自動車・建設機械・産業機械用各種鋳鍛造及びアルミダイキャスト部品の製造販売
主要顧客 三菱ふそうトラック・バス(株)殿、三菱重工(株)殿、三菱自動車工業(株)殿

沿 革

1971年 5月	三菱自動車工業(株)の全額出資により「東北三菱自動車部品(株)」として設立
1981年 4月	東菱機工(株)を吸収合併し北本工場とする
1992年10月	社名を「三菱自動車テクノメタル(株)」と改称
2003年 1月	三菱ふそうトラック・バス(株)が三菱自動車工業(株)から当社株式を継承
2003年 3月	ISO14001(環境) 認証を取得
2003年10月	社名を「三菱ふそうテクノメタル(株)」と改称
2004年 6月	ISO9001(品質)認証を取得
2006年 2月	旭テック(株)が筆頭株主となる。社名を「テクノメタル(株)」と改称
2007年 5月	ISO/TS16949(品質-自動車) 認証を取得
2007年 8月	旭テック(株)が当社株式を100%取得





環境方針

基本方針

当社は、天然資源やエネルギーを多く消費する企業であり、自然環境の保護・保全が地域環境はもとよりグローバルな重要課題であることを認識し、環境改善と地域との共生を推進します。

行動指針

1. 法規制の順守と社会的責任

法令、条例、協定、同意するその他の要求事項を順守し、社会的責任を遂行します。

2. 環境負荷の低減

CO₂排出の抑制、省エネルギー、汚染の予防及び廃棄物削減に重点的に取り組み、環境リスクの低減と工場のクリーン化を推進します。

3. 環境マネジメントシステムの維持とレベルアップ

環境目的・目標を定め、全員でPDCAを回して継続的に改善します。

4. 社会貢献

地域住民、行政等と連携を取り、社会貢献活動を積極的に推進します。

5. 環境情報の開示

環境関連情報を広く公開し、社内外とのコミュニケーションを図ります。

2009年 7月 30日

テクノメタル株式会社

代表取締役社長

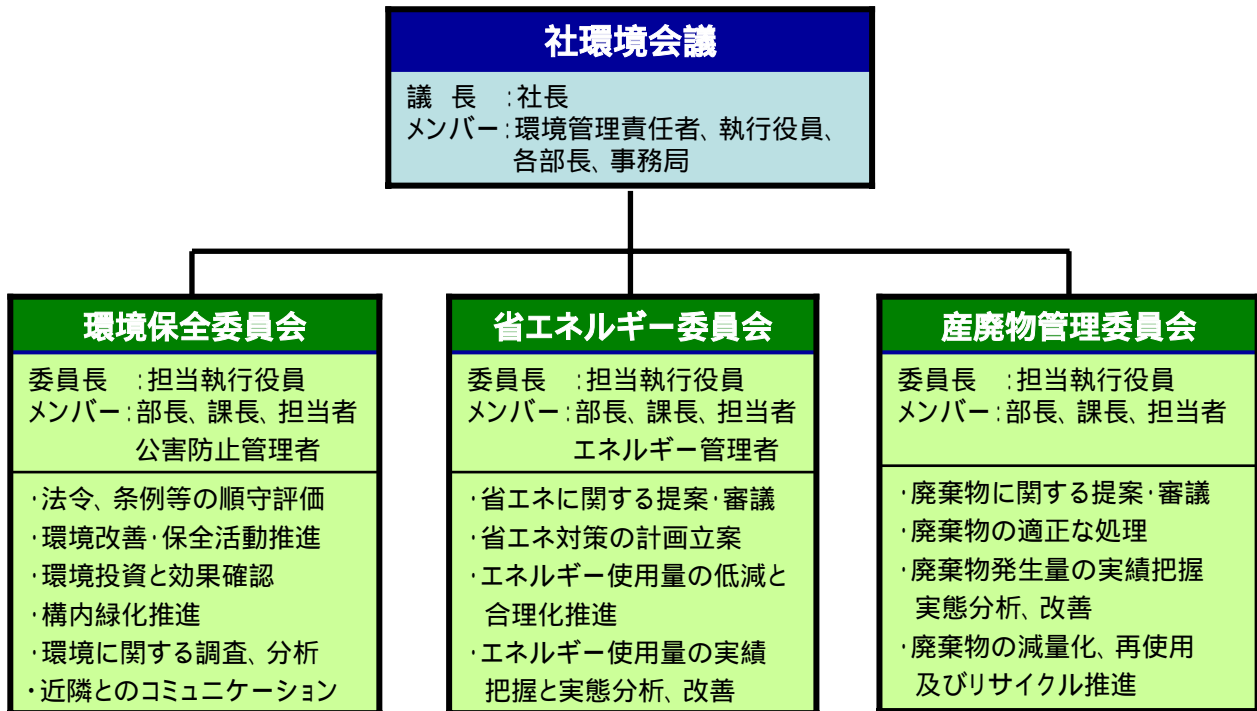
三浦哲夫

環境マネジメント

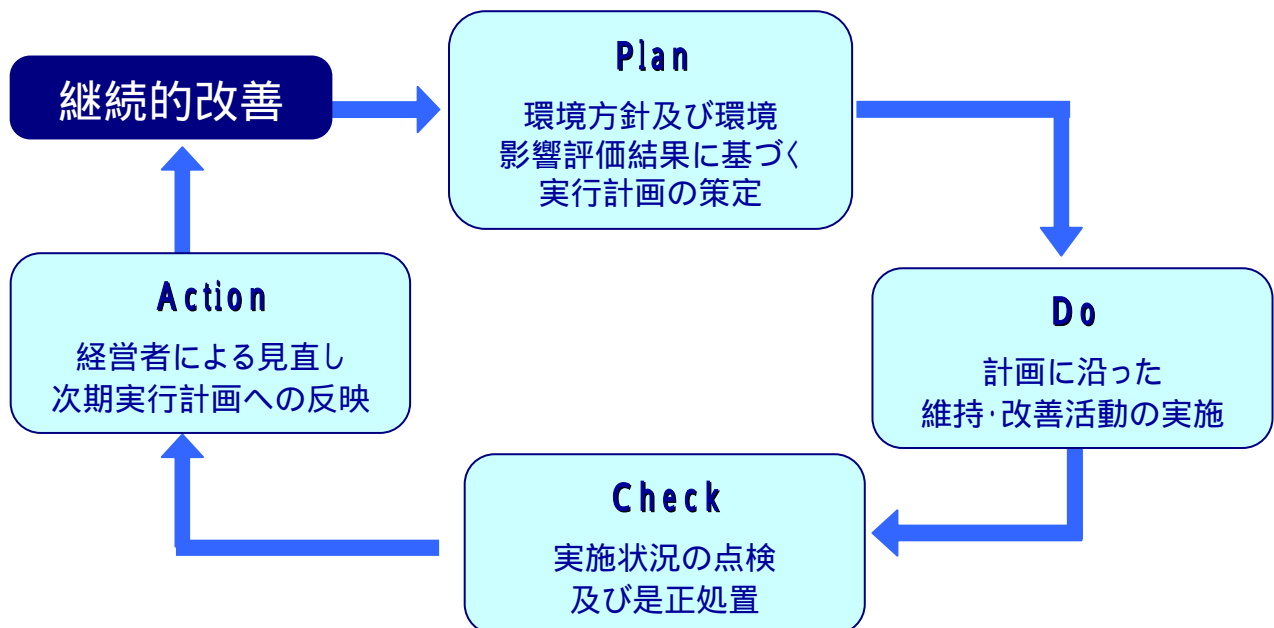
➤ 環境改善活動の推進体制

当社は、毎年2回「社環境会議」を開催し、全社的に環境改善活動を推進しています。

社環境会議の下部組織には「環境保全委員会」「省エネルギー委員会」「産廃物管理委員会」の3つの委員会を設置し、各テーマごとに法令順守と環境改善への積極的な取組みを推進しています。



➤ 環境改善活動のPDCA



➤ ISO14001への取り組み

ISO14001認証取得

当社は、2003年3月ISO14001の認証を取得後、国際規格に基づいた環境マネジメントシステムを構築し運用しています。

環境改善活動の推進

環境影響評価結果をもとに社の年度目標を設定し、全社的な改善活動を展開しています。各部門は、社の目標を達成するために、それぞれの業務に応じた環境改善プログラムを策定し、計画的に改善に取り組み、成果を上げています。



総合防災訓練(2009.9月)

教育・訓練

一般社員から管理・監督者まで、それぞれのニーズに応じて様々な階層別教育を実施しています。

緊急事態の対応訓練として、地震や火災を想定した総合防災訓練や燃料油流出時の処置訓練等を計画的に実施しています。



内部監査員スキルアップ教育(2009.7月)

内部監査

毎年1回内部監査を実施し、環境マネジメントシステムの適合性と有効性を確認しています。

約70名の監査員は、社内スキルアップ教育を受講し監査レベルの向上を図っています。

経営者による見直し

年2回社環境会議を開催し、環境マネジメントシステムが適切でかつ有効に機能しているかを経営者がレビューします。

環境事故や苦情等があれば、この会議で報告し適切に処置します。



社環境会議 (2009.11月)

環境改善活動への取り組み

テクノメタルは、環境改善活動に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。

▶ 環境保全活動

環境保全委員会の活動計画を通して様々な取り組みを行い、「環境にやさしい企業」を心掛けています。

工場周辺の環境点検

毎年6月の環境月間に、工場敷地境界線の環境点検を実施しています。境界部の樹木剪定、草刈り、ゴミ回収等を行い、周辺住民の皆様とのより良い関係を継続するため環境の美化に努めています。



工場周辺環境点検 (2009.6月)



夏休み親子巣箱作り教室 (2009.8月)

巣箱の設置

二本松工場は約10万坪の敷地面積があり、緑に囲まれて野鳥が数多く生息しています。夏休みに社員の子供たちを対象に巣箱作り教室を開催しました。手作りした巣箱は工場敷地内の樹木に設置しました。やがて、ひな鳥が誕生し巣立っていくことと思います。

安達ヶ原ふるさと村への記念樹植樹

二本松市の安達ヶ原ふるさと村は、弊社の東方、車で約5分のところにあり、鬼婆伝説の地です。

当社は、市民植樹に協賛し、平成18年、花と緑の丘に記念植樹を行いました。



安達ヶ原の民家園



五重の塔



当社の記念樹
ベニバナエゴノキ(2009.6月)

▶ 省エネルギーの推進

鋳造品、鍛造品の製造プロセスでは、電気、燃料油、コークスなど多くのエネルギーを消費します。省エネルギー委員会の活動計画を通して、社員の創意工夫と技術力を駆使してエネルギー使用量の削減に取り組んでいます。

クランクケース加工ラインの新設

2008年5月北本工場に大型クランクケース機械加工ラインを新設しました。

このラインは、計画段階から特に環境に配慮し、自然採光やラインレイアウト最適化による省エネ、建屋の防音処理、エア洩れ・油洩れ防止の徹底を行いました。

また、油性切削油を一切使用せず、環境にやさしい水溶性切削油を採用しています。



クランクケース加工ライン新設
(2008.5月)

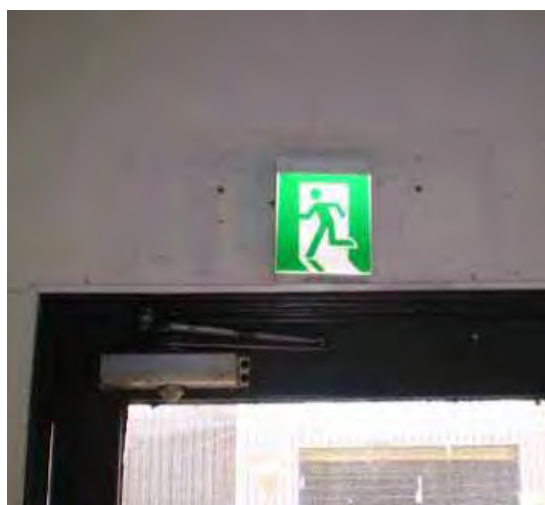
照明設備の省エネ

工場内及び屋外の照明を水銀灯から蛍光灯に順次変更し、大きな省エネ効果を得ることができました。

また、出入口の非常灯は、蛍光ランプからLED照光ランプに変更しました。



屋外照明の水銀灯400w
を蛍光灯32wに変更



非常灯の蛍光ランプ10w
をLEDランプ2.2wに変更

➤ 産業廃棄物の低減・リサイクル

鑄造工場からは鑄物廃砂、溶解鉍滓、集塵ダスト、鍛造工場からは鍛造ばり、金属屑などが多量に発生します。これらを貴重な資源と考え、産廃物管理委員会をベースに廃棄物の低減、リサイクル化を推進しています。

ゼロエミッションへの取り組み

当社では、廃棄物の90%以上を再資源化し有効活用しています。

例えば、鑄造工場のキュボラから排出される水砕スラグ(熔融スラグを水で急冷し粒状化したもの)を肥料の原料に使用したり、集塵機から排出される鉄分の多いダストを鉄源として再利用するなど、ゼロエミッションに向けて徹底した取り組みに挑戦しています。



水砕スラグの肥料原料化



鉄分リッチダストの再資源化



集塵ダストをバケットに直接回収



産廃物一時保管場への夜間通行禁止

廃棄物の適正処理

廃棄物の管理には特段の注意を払っています。処理業者との契約、マニフェストの確認はもとより、最終処分場の定期監査も計画的に実施し、廃棄物の適正処理に努めています。

また、集塵機からのダスト回収はトラック輸送用のアームローダーバケットに直接回収し、空け替えによる粉塵発生を防止しています。更に民家に近い産廃物保管場への運搬車両は夜間搬入・搬出を禁止し、騒音防止に配慮しています。

地域社会との共生・ボランティア

テクノメタルは、地元の皆様とのコミュニケーションを大切にし、地域社会に積極的に貢献します。

地域社会との環境コミュニケーション

当社の生産活動及び環境への取り組み状況をご理解いただくために、近隣の皆様への工場見学会を行っています。区長さんをはじめ関係組合の代表者、近隣にお住まいの皆様に来社いただき、貴重なご意見をお伺して環境改善に活かしています。



近隣住民の皆さんの工場見学会(2008.11月)



国道4号クリーンアップ(2009.6月)

国道、県道のクリーンアップ

毎年6月の環境月間には、二本松工場に隣接する国道4号と、北本工場に隣接する県道のクリーンアップを行っています。多くの社員が参加し、空き缶やゴミを回収します。

北本の夏祭り

毎年、近隣の皆さんが楽しみにされている夏祭りに協賛。北本工場のグラウンドを開放して使用していただいています。



北本の夏祭りにグラウンド開放(2009.8月)

二本松提灯祭りへの協賛

毎年10月4・5・6日に行われる二本松の提灯祭りは、300余年の伝統がある日本三大提灯祭りの1つです。

当社は、このお祭りに毎年協賛し社員による出店を出しています。



二本松提灯祭りと当社の出店(2009.10月)

二本松菊人形への協賛

二本松の菊人形は、日本最大の菊の祭典として毎年10月1日から11月23日に開催されています。例年、NHKの大河ドラマをメインテーマとして会場が設定され、当社も協賛しています。



二本松の菊人形(2009.10月)

ボイラー実技講習

毎年、地元の二本松工業高校の生徒を対象にボイラー技士の受験に必要な実技講習を行っています。当社の技術者が講師を務めてボイラーの取扱い方法を教育し、地元へ根付いた企業としての役割りを果たしています。



地元工業高校生へのボイラー実技講習
(2009.4月)



エコキャップの回収 (2009.6月～)

エコキャップの回収

社員と家族が飲料したペットボトルのキャップを回収し、世界の子供たちにワクチンを提供する活動に協賛しています。6月から9月までに12kgのキャップを回収しました。今後も継続して取り組みます。

環境データ

1. 環境測定結果

【1】二本松工場(工業地域)

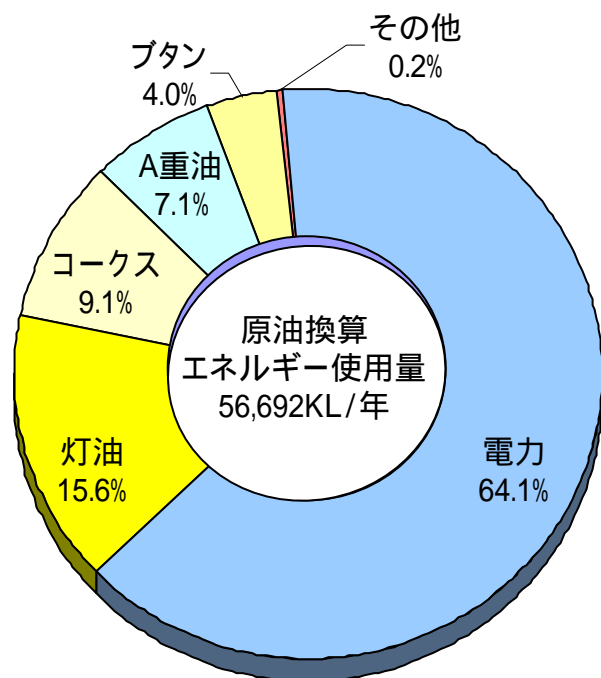
2009年03月現在

規制項目		単位	二本松市との 公害防止確約書	測定値		
				2008年上期	2008年下期	
大気	NO _x (加熱炉) 5,000m ³ N/h	vol.ppm	170	160	150	
	NO _x (加熱炉) <5,000m ³ N/h		200	68	44	
	NO _x (自家発)		750	580	停止	
	SO _x (ボイラ-)	K値	6.0	0.1未満	0.1未満	
	SO _x (自家発)		6.0	0.29	停止	
	煤塵(乾燥炉、加熱炉)	g/m ³ N	0.2	0.014	0.008	
	煤塵(自家発)		0.1	0.009	停止	
ダイオキシン	流動焙焼炉	排ガス	ng-TEQ/m ³ N	5	下期測定	0.049
		燃殻	ng-TEQ/g	3	同上	0.00066
		煤塵		3	同上	0.00094
水質	pH		pH	5.9~8.1	6.8~7.3	6.6~7.4
	BOD		mg/l	20	1.0未満~3.8	1.0未満~7.0
	COD			20	4.0~9.0	1.9~8.9
	SS			40	2.0未満~3	2.0未満~3
	N-H			5	1.0未満	1.0未満
悪臭	アセトアルデヒド			ppm	0.06	0.018
	アンモニア		0.6		0.3	同上
	臭気濃度		指数	県条例18以下	10未満	同上
騒音	(夜間)		dB	55	下期測定	53
振動	(夜間)			60	同上	57

【2】北本工場(市街化調整区域:用途地域の指定のない地域)

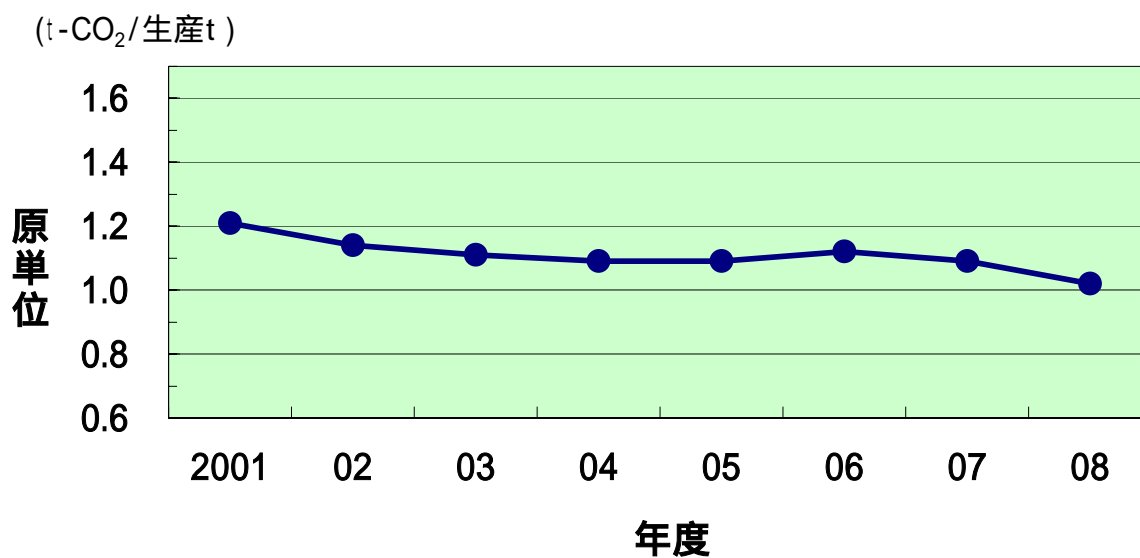
規制項目		単位	埼玉県 条例	測定値		
				2008年上期	2008年下期	
水質	pH		pH	5.8~8.6	6.7	7.1
	BOD			20	4.5	4.3
	SS			50	5.0	6.0
騒音	(夜間)		dB	45	下期測定	40.2
振動	(夜間)			55	28.6	上期測定

2. エネルギー使用量の内訳 (2008年度)

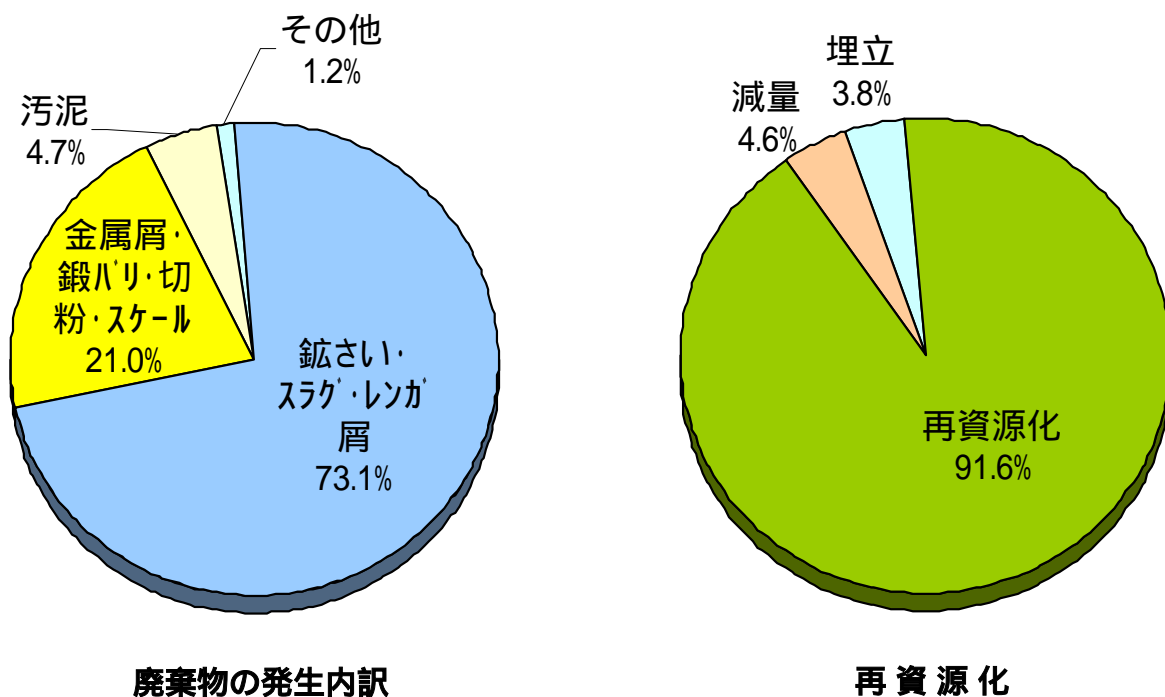


主な用途	
電力	鑄造溶解炉 エアーコンプレッサー 工場・事務所全般
灯油	鍛造熱処理 暖房
コークス	鑄造 キュポラ
A重油	自家発電
ブタン	アルミ溶解炉

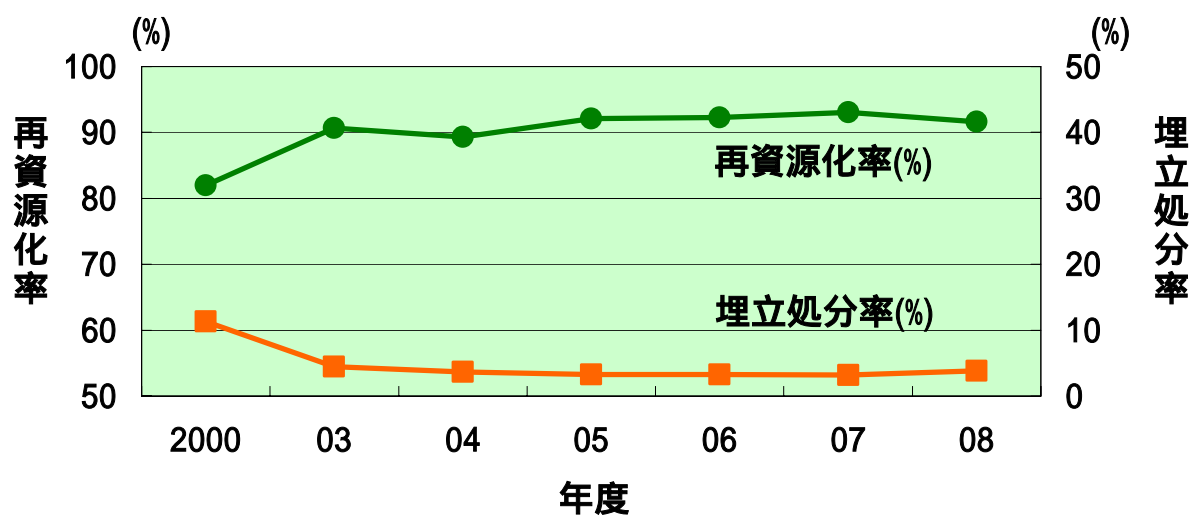
3. CO₂排出量原単位の推移



4. 廃棄物の発生内訳と再資源化（2008年度）



5. 埋立処分率及び再資源化率の推移



テクノメタル株式会社

本社・二本松工場 福島県二本松市高田100番地

北本工場 埼玉県北本市古市場1-100番地

環境報告書2009 2009年11月発行 品質保証部 ISOグループ